

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公開番号】特開2005-86591(P2005-86591A)

【公開日】平成17年3月31日(2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2005-013

【出願番号】特願2003-317679(P2003-317679)

【国際特許分類】

<b>H 04 B</b>	<b>7/26</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 08 G</b>	<b>1/09</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

H 04 B	7/26	H
G 08 G	1/09	H
H 04 B	7/26	M

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月9日(2006.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

移動体に搭載されて、他の移動体に搭載された同種の機器との間でメッセージを送受する移動体通信装置において、

定型文によるメッセージを特定するメッセージコードを受信し、該メッセージコードに対応する前記メッセージを選択してユーザーに通知し、

前記メッセージコードに対応する受信コードの送信により、前記メッセージの送信元に前記メッセージの受信を通知する

ことを特徴とする移動体通信装置。

【請求項2】

前記受信コードが、前記受信したメッセージコードである

ことを特徴とする請求項1に記載の移動体通信装置。

【請求項3】

前記受信コードが、前記受信したメッセージコードを特定可能に設定された

ことを特徴とする請求項1に記載の移動体通信装置。

【請求項4】

前記メッセージを送信した後、一定の時間経過しても、該メッセージの受信が通知されない場合、前記メッセージを再送する

ことを特徴とする請求項1に記載の移動体通信装置。

【請求項5】

前記他の移動体との間の相対位置の変化を監視し、該監視結果に基づいて、前記メッセージを再送する

ことを特徴とする請求項4に記載の移動体通信装置。

【請求項6】

前記メッセージの送信を光通信により実行し、

撮像手段による撮像結果により、前記他の移動体との間の相対位置の変化を監視することを特徴とする請求項5に記載の移動体通信装置。

**【請求項 7】**

移動体に搭載されて、他の移動体に搭載された同種の機器との間でメッセージを送受する移動体通信装置において、

受信したメッセージに対応するメッセージコードをそのまま送り返して前記メッセージの送信元に前記メッセージの受信を通知する

ことを特徴とする移動体通信装置。

**【請求項 8】**

移動体に搭載されて、他の移動体に搭載された同種の機器との間でメッセージを送受する移動体通信装置の移動体通信方法において、

定型文によるメッセージを特定するメッセージコードを受信し、該メッセージコードに対応する前記メッセージを選択してユーザーに通知し、

前記メッセージコードに対応する受信コードの送信により、前記メッセージの送信元に前記メッセージの受信を通知する

ことを特徴とする移動体通信方法。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0008】**

かかる課題を解決するため請求項1の発明においては、移動体に搭載されて、他の移動体に搭載された同種の機器との間でメッセージを送受する移動体通信装置に適用して、定型文によるメッセージを特定するメッセージコードを受信し、該メッセージコードに対応する前記メッセージを選択してユーザーに通知し、前記メッセージコードに対応する受信コードの送信により、前記メッセージの送信元に前記メッセージの受信を通知する。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0009】**

また請求項8の発明においては、移動体に搭載されて、他の移動体に搭載された同種の機器との間でメッセージを送受する移動体通信装置の移動体通信方法に適用して、定型文によるメッセージを特定するメッセージコードを受信し、該メッセージコードに対応する前記メッセージを選択してユーザーに通知し、前記メッセージコードに対応する受信コードの送信により、前記メッセージの送信元に前記メッセージの受信を通知する。

**【手続補正 4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0010】**

請求項1の構成によれば、メッセージの送信元において受信コードの受信により、メッセージが相手に伝わったことを確認することができる。これにより送信したメッセージが相手に伝わったことを確実に確認することができる。